

第 1 回 坂東市補助金等検討委員会（会議要旨）

日 時 平成 19 年 3 月 22 日（木）午後 1 時 30 分～

場 所 岩井庁舎 第一応接室

内 容

【委嘱状交付】

【市長挨拶】

【委員紹介】 (順不同、敬称略)

石塚 陽子（常総市）	伊東 明彦（守谷市）	遠藤 裕子（古河市）
大澤 義明（つくば市）	坂巻 喜好（常総市）	野口 次男（常総市）

【市出席者紹介】

企画部長、財政課長、企画調整課長、事務局（企画調整課）

【委員長及び職務代理者の選出】

○委員長…大澤義明委員 ○職務代理…野口次男委員

【会議資料の説明】

事務局より坂東市の財政状況、検討委員会の概要、補助金等の交付状況等について説明を行う。

資料 1 補助金等の見直し状況について

補助金等検討委員会の概要について

資料 2 近隣自治体比較表

資料 3 平成 17 年度補助金等の調査結果について

庁内における見直しの方向性について

資料 4 平成 17 年度財政状況の概要について

【検討委員会での意見等について】

- 検討委員会での意見や資料については、市ホームページ等を活用し市民に公表する。
- 人口規模が同じ守谷市と 17 年度決算ベースを比較すると、坂東市は補助金額で約 2 倍以上の支出をしているが、地域的な特徴や背景があるのか。
- 19 年度の予算編成において、市単独補助金は対前年度比 5% 削減とあるが実績額は。
- 市が作成した中期財政計画（見通し）については、市民に公表し情報を共有すべきである。
- 補助を受けている団体は、活動報告書や事業実績等について市民に公表すべきである。
- 交付期間が 20 年以上のものが多く、補助金交付の初期の目的を達成したものにも支給しているのでは。終期の設定を含め検討すべきである。
- 補助金が市にとって本当に効果があるものを精査すべきである。
- 食糧費や視察研修費（視察先も含め）への補助金充当については見直しが必要である。
- 繰越金のある団体については、市補助金の清算返還を含め、審査機能やチェック体制の整備が必要である。
- 補助金の推移を知るため、過去 5 年間位の資料を提出されたい。
- 市職員が外部団体の事務処理を行うことは、補助団体の自立阻害にもつながるのではないか。
- 財政の中長期的計画の中で、同一規模の団体と同じ位などとする、終着の目標値があるのか。
- 補助を受けている団体が、更に他の団体に補助金を交付するのは好ましくないのではないか。
- 市民の要望に基づくものや行政が施策的に進めるものなどがあるが、行政改革の視点にある、市民との協働によるまちづくりの比率を上げる考えはあるのか。
- 小額の補助金については、その効果を検討すべきである。
- 現況を知るため、18 年度の各補助金の交付状況や団体の活動報告書、更に収支については領収書の添付を含めた会計報告書を次回会議に用意されたい。また、責任の所在をはっきりするため、記入者、責任者の記名及び状況によっては所管課の説明を受けたい。

【次回の委員会日程】

平成 19 年 5 月 22 日（火）午後 1 時 30 分から

（会議資料については事前送付）